

NMC News



独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター広報誌

No. **118**
2024年5月号
TAKE FREE

ご自由に
お取り下さい



写真：138タワーパーク(国営木曽三川公園／愛知県一宮市)

院長挨拶	院長 小寺泰弘	2p
院長退任の辞	名古屋医療センター 名誉院長 長谷川好規	3p
新任挨拶	副院長・手術部長 小嶋俊久	4p
新任挨拶	統括診療部長 飯田浩充	5p
新任紹介	医師・専攻医	6p・7p



新任のご挨拶



小寺 泰弘
院長

4月1日付けで院長として着任いたしました。この場をお借りして新任のご挨拶を申し上げます。

私は1985年に名古屋大学医学部を卒業、小牧市民病院、愛知県がんセンターで勤務させていただきました。2002年に名古屋大学消化器外科学教室に戻り、2016年より副院長として、2019年より病院長として病院全体の管理運営に携わりました。病院長の時期は新型コロナウイルス感染拡大と重なり多くの苦労がありましたが、職員の絶大な協力を得て主に重症化した感染者の治療に取り組む一方で、大学病院でしか実施できない診療を可能な限り継続する方針といたしました。病院長としては何とか厳しい時期を乗り越えた感がありますが、消化器外科の教授としてはやや不完全燃焼の感を残しての退職となりました。

このたび、東海地方で長い歴史と伝統のある名古屋医療センターで勤務の機会をいただいたことについて、大変光栄に感じるとともに、その責任の重さをひしひしと感じております。私にとって常勤の医師として年単位で勤務する病院としては4つ目ということになりますが、これまでの3つの病院は規模や地域における役割も様々であり、私自身の役割も各々の病院で異なったものでありました。名古屋医療センターは地域の中核病院として救急を中心とした急性期医療を前面に押し出して地域の期待にお応えしながらも、国立病院機構の中でも臨床研究のセンター機能を備えた病院として、高度医療や臨床研究を積極的に推進するべき役割もあると認識しております。この病院が持つ大き

なポテンシャルを生かしながら、そうした重要な使命をしっかりと果たせるように尽力したいと思います。とは言え、これまでに勤務したことのない病院でいきなり病院管理者の役割をいただくのは試練であるとも感じております。職員の皆様からいろいろなことを教わりながら、頑張って義務を果たしてまいりたいと思います。

何と申ししましても令和6年4月から医師働き方改革が本番を迎えます。政策を模範的に実現すべき立場の病院として真摯に取り組む必要がありますが、特に急性期医療に向き合う医師がこれまで過度に求められていたと私自身も感じてきた労働量を軽減させながらも患者さんに大きなデメリットが生じないように医療を継続するためには、まずはそもそも論の部分で患者さんにご理解をいただく努力を今後も続けていくとともに、相当の創意工夫と柔軟な発想力が求められます。この点でも職員の皆様に御協力をお願いしながら誠意をもって取り組む所存です。ひとりひとりの英知を結集して患者さんに安心して診療をお任せいただけ、且つ職員が満足して勤務できる病院であり続けられるよう、力を合わせて行ければと考えております。



積極的に感染者を受け入れ、地域の中心となって診療



長谷川好規

名古屋医療センター 名誉院長

令和6年3月末日をもって名古屋医療センター院長を退職いたしました。在職中は、院内外を問わず多くの皆さんに支えられ、また、お世話になりました。心より感謝申し上げます。2019年5月1日、令和元年初日に名古屋大学から着任し、この4年11ヶ月間は、新型コロナウイルスに始まり、その対応で終わったと実感しています。2019年12月に中国武漢で始まった新型コロナウイルス感染症は瞬く間に全世界に拡大し、1918年スペイン風邪以来の世界的パンデミックとなる甚大な被害を引き起こしました。私が愛知県新型コロナウイルス感染対策本部医療専門部会長に就任したことも要因の一つかもしれませんが、名古屋医療センターの職員一同が積極的に感染者を受け入れ、地域の中心となって診療に関わってくれたことは、院長として感謝と共に頑張っていたいただいた職員の皆様に心より誇りに思っています。

2020年元旦に私の病院目標としてのキャッチフレーズを作りました。それは、「変わろう、新しい医療の構築に向かって!建てよう、新病院を!」でした。この5年間で名古屋医療セン

ターの医療パフォーマンスは確実に高まり、良くなりました。しかし、職員の皆さんとの議論や社会との対話などを通じて、新病院建設や病棟改築に向けた方向性を示すことができなかったことは、私としては心残りであり、新院長と新執行部に託したいと思います。

新型コロナウイルス・パンデミックは日本社会の課題を加速し、少子高齢化や地政学的不安定さを現実的な問題として認識せざるを得なくなりました。病院をめぐる環境も厳しく、地域医療構想や診療報酬の改定など将来を見据えた病院変革が求められています。しかし、どのような状況になろうと名古屋医療センターは存続する必要があります。それは、働く職員のためだけではなく、災害、パンデミック、有事や貧困に際し起こる健康危機への対応、そして社会から求められる存在であることを使命づけられているからです。また、その能力と社会からの期待とニーズも十分に兼ね備えていると評価しています。この歴史と伝統のある名古屋医療センターが、今後とも一層発展することを楽しみにしています。



◀新型コロナウイルスワクチン大規模接種関係者への感謝状贈呈式
長谷川院長と大村愛知県知事
令和5年4月25日、県庁で
(NMC News No.113より)

活気ある整形外科 —関節リウマチ、人工 関節そして外傷治療—



小嶋 俊久

副院長
手術部長

皆様、病診連携、地域医療連携において、大変お世話になっております。多くの患者さんをご紹介いただき、深く感謝いたします。私議となりますが、本年度4月より、当医療センターの副院長を拝命しております。

さて、今回は、この紙面をお借りして、当医療センターの整形外科についてご紹介させていただきたいと思います。当院整形外科の特徴は、関節リウマチ治療、人工関節手術、外傷治療の3つです。

まず、関節リウマチについてです。本疾患は、関節炎を主症状とする、慢性全身性炎症疾患であり、長らく、有効な治療法も乏しく、多くの患者さんが苦しんでまいりました。

今世紀に入り、炎症の中で、悪さをするサイトカインを標的とした、いわゆる分子標的治療が導入され、大きく進歩しました。20年余の治療経験により、薬物治療は確立し、標準化されてきております。当院では長く培った治療実績もとに、これらの治療をしっかり行っております。

人工関節手術についても、この地域で、治療実績が最も多い施設の一つであります。整形外科分野において、現在人工関節手術は、確立さ

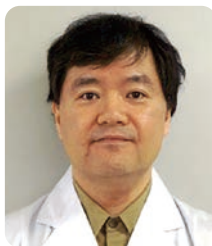
れた治療法の一つです。近年大きく進歩したナビゲーションシステムを導入し、より再現性の高い手術を行っています。

当院は、地域救急医療に貢献することを旨としています。外傷について、高齢者の脆弱性骨折、高所からの転落など高エネルギー外傷を、ともに積極的に受け入れ、治療をしています。高齢者については、速やかな全身の評価と、手術により（即日緊急手術も行っています）、身体機能の低下を最小限にするよう努めています。また、高度な技術を要する、関節内骨折、骨盤骨折についても最新の知識、機器をもって、確実な治療を行っています。基本となる症例検討も、スタッフのそれぞれから、積極的な意見が出され、日々の研鑽を重ねています。そして、多くの若手医師が、整形外科の門をたたき、くぐってくれています。うれしい限りです。

私共の治療も、リハビリテーションの転院、骨折の二次予防のための脆弱性骨折リエゾンサービスなどスムーズな連携があつてこそ、成り立っていると思っております。病院として、安心確実な治療を提供してまいりますので、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



病院の運営に関して 幹部の方々を支えて いければ



飯田 浩 充

統括診療部長

4月より、統括診療部長に任ぜられました飯田浩充と申します。ご挨拶を兼ね自己紹介をさせていただきます。

1990年（平成2年）名古屋大学を卒業し、初期研修は名古屋第一赤十字病院で行いました。その後、愛知県済生会病院、名古屋大学第一内科、名鉄病院を経て、2012年より名古屋医療センターに勤務しております。血液内科を専門としており、特に白血病の治療や造血幹細胞移植を中心に臨床経験を重ねてきました。

先日、第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会が東京国際フォーラムで行われました。その際、日本での同種造血幹細胞移植開始50周年を記念するシンポジウムが開かれました。日本で最初に同種移植を行ったのは、名古屋か金沢か福岡か、かねてより議論となっていました。今回のシンポジウムの結果、名古屋に落ち着いたようでした。このように名古屋は、造血幹細胞移植の分野で常に日本をリードしてきた地域です。同じように、名古屋医療センターも全国の国立病院ネットワークの中で血液分野のリーダー施設の役割を長く務めています。現副院長の永井先生はじめ、諸先輩方が築いてきた当院血液内科のアクティビティーを落とさぬよう、赴任依頼、臨床に研究にできる限り努力をしてきたつもりです。新たな役職をいただき、臨床からは少し距離を置くことになるかもしれませんが、病院の運営に関して幹部の方々を支えていければと思っています。

造血幹細胞移植は、難治性で予後不良の血液疾患に完治をもたらす可能性のある治療ですが、合併症やそれによる死亡のリスクもかなりあります。治療関連死亡が20%という治療は、ほかにはあまり無いと思います。患者さん自身も大変な苦勞をしますし、患者さんの家族もつらい思いをすることもあり、また看護師や医師など医療者側の労力も少なくありません。昨今は医療者の働き方改革が叫ばれ、自分の時間を削って患者さんのために働くことが、必ずしも是とされない世の中です。なかなか難しい時代であると実感しますが、治療方針の決定は、患者さんの気持ちを最優先としつつ、エビデンスや医療チーム皆の意見を取り入れて行い、継続可能な形で診療していくことが必要と考えます。

「病む人の立場に立って、安全でより質の高い医療を提供」できるように、診療や病院運営に関わっていきたいと思います。今後のご指導をよろしくお願いいたします。



新 任 紹 介

医 師



皮膚科医長 藤 城 里 香

今年度より豊橋市民病院から転任いたしました。現体制の当院皮膚科は若手の医師が多いですが、フレッシュな気持ちで地域医療に貢献できるよう努めます。よろしくお願いいたします。



脳神経内科医師 二 上 和 也

以前、初期研修から4年間、当院でお世話になり、今年から再度働かせていただくことになりました。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



外科病院医長 宇 野 泰 朗

初めまして、外科に赴任しました宇野泰朗（うのやすお）と申します。専門は消化器外科（主に消化管）になりますが、緊急疾患から悪性腫瘍まで地域の皆様の診療に少しでも貢献して参りたいと思っております。よろしくお願いいたします。



皮膚科医師 守 田 佑 香

今年度から赴任させていただくことになりました。1日でも早く皆様のお役に立てるよう努力して参ります。至らぬ点も多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



外科医師 田 中 健 太

2024年4月より着任しました田中健太と申します。以前は岐阜県の東濃厚生病院と県立多治見病院で勤務していました。患者様との信頼関係を重視し、少しでも皆様の役に立てるように努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。



泌尿器科医師 川 西 秀 治

愛知医科大学から異動となりました。主に前立腺癌を担当として診療していました。4年ぶりの市中病院であり、最初是不慣れかと思いますが、臨床を頑張りたいと思います。今後、よろしくお願いいたします。



腫瘍内科医師 猪 野 陸

自治医科大学出身であり昨年まで9年間、高知県の地域医療に従事していました。一般内科の経験も活かし患者様、病院へ貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



泌尿器科医師 鹿 島 彩 乃

名古屋大学附属病院より、4月より赴任しました。少しでも地域医療に貢献したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科医師 久 野 友 里 恵

名古屋セントラル病院より、4月より赴任しました久野と申します。少しでも地域の診療に貢献したいと思えます。よろしくお願いいたします。



麻酔科医師 加 藤 祐 貴

4月1日よりお世話になります加藤と申します。精一杯がんばりますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。



呼吸器内科医師 大 瀧 敏 弘

4月より呼吸器内科にて勤務させていただいている大瀧敏弘と申します。患者様の訴えに耳を傾け、お役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



小児科医師 末 永 佑 佳

地域の子供たちとご家族の方の気持ちに寄り添い、健やかに過ごすためのお手伝いができるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



脳神経内科医師 小 谷 慧

今年度より再び当院でお世話になります、小谷と申します。昨年度は名古屋第一赤十字病院で勤務しておりました。皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、改めてよろしくお願いいたします。



歯科口腔外科医師 後 藤 藍

4月から歯科口腔外科で勤務しております後藤と申します。慣れない環境でご迷惑をおかけすると思いますが、明るく元気に頑張ります。よろしくお願いいたします。

**内科専攻医 小出 典司**

はじめまして。本年度よりお世話になります、内科専攻1年目小出です。2年間、江南厚生病院で初期研修を行いました。新しい職場で大変緊張しております。至らない点もあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

**内科専攻医 別府 淳**

この度、4月より内科専攻医として勤務させていただくことになりました。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

**内科専攻医 稲場 太志**

内科専攻医として勤務させていただくことになりました稲場と申します。前年度まで名古屋セントラル病院にて研修しておりました。至らぬ点があると思いますが、よろしくお願い致します。

**内科専攻医 伊藤 拓未**

内科専攻医3年目の伊藤と申します。4月より腫瘍内科で働かせていただきます。至らぬ点もあるかと存じますが、どうぞよろしくお願い致します。

**救急集中治療科専攻医 田中ひまり**

本年度より救急集中治療科の専攻医としてお世話になります。多様な症例を経験して学んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。

**内科専攻医 山本 佑香**

今年度より内科専攻医としてご採用いただき、心より感謝申し上げます。未熟な点が多々あるかと存じますが、日々努力し、精進してまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

**内科専攻医 間瀬 暁代**

初期研修医より4年間、瀬戸にある公立陶生病院で研修し、4月より、血液内科で働かせて頂くことになりました。ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、精一杯励みますのでどうぞよろしくお願い致します。

**内科専攻医 寺澤 毅彦**

内科専攻医3年目の寺澤と申します。脳神経内科で勤務させていただきま。日々精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

**内科専攻医 高橋 周治**

内科専攻医の高橋周治と申します。卒後5年目です。愛知医科大学病院から参りました。脳神経内科で半年間お世話になります。なるべく早く新しい環境に慣れていきたいと思ひます。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

**眼科専攻医 福田 創**

眼科専攻医として勤務させていただくことになりました福田と申します。至らぬ点があると思いますが、よろしくお願い致します。

**眼科専攻医 江口 諒**

本年度から、眼科専攻医として勤務させていただきます、江口諒と申します。研修医から専攻医となり、まだ日が浅く未熟者ではありますが、諸先輩方のご指導の下で、少しでも患者様の健康の一助になれるよう、日々努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

**皮膚科専攻医 加藤 眞子**

4月から皮膚科で勤務させていただくこととなりました。皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

**皮膚科専攻医 後藤 文音**

今年から名古屋医療センターに勤務させていただき、皮膚科4年目の後藤文音と申します。至らぬ点もあるかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

**病理診断科専攻医 都築 恵美**

4月から専攻医として病理診断科にお世話になっております。至らぬ点が多いと思いますが、精一杯努力しますので、よろしくお願い致します。

外 来 診 療 担 当 表

令和6年5月1日現在

診 療 科			月	火	水	木	金		
内 科 (2階)	受 付 A	消化器内科	1診	平嶋	村山	島田	浦田	恒川	
			2診	齋藤	久野	近藤尚	交代制(再診) 田中(2・4週)	宇仁田	
			3診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	
			4診						
		呼吸器内科	4診						
			5診	佐野	沖	篠原(午前) 鳥居(午後)(隔週)	石井(初診)	沖	
			6診	鳥居厚	小暮啓(初診)	小暮啓	北川	小暮啓	
			7診	沖/ 篠原(初診)	大濱(午前) 篠原(午後)	佐野(初診)		鳥居厚/ 大濱(初診)	
	8診					ペースメーカー(1・3週)			
	受 付 B	循環器内科	8診			ペースメーカー(2・4週)		ペースメーカー(1・3週)	
			9診	近藤隆	交代制	交代制	近藤隆	細野	
			10診	今井	上村	山下	交代制	宮原	
			11診	交代制	早川	山田高	山田高	森	
		糖尿病・ 内分泌内科	12診				フットケア(2週・午後)		
			13診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	
			14診	丹羽晴	交代制	田 實	田 實	杉浦	
			15診	杉浦	山田努	山家由	山田努	山家由	
	受 付 C	膠原病内科 リウマチ科	8診						
			12診					梅村(再診)	
			17診	高野	高野 (予約のみ)	梅村(午前)/ 平野(午後)	鈴木	鈴木(午前)/ 小嶋(午後)	
			18・19診	長谷川貴 (午後)⑨	鈴木(午前・初診)/ 小嶋(午後・再診)	高野⑩・ 水谷有⑨	小嶋 (午前・初診)	長谷川貴⑩・ 水谷有⑨ (午前初診午後再診)	
腎臓内科		18診	—	—	—	—	—		
		19診	中村(再診)	中村(再診)	—	代務医師(再診)	—		
		受 付 D	脳神経内科	20診	小谷(1・3・5週) 二上(2・4週)	瀧田	梶田脩	原田	榊原
				21診	脳波・てんかんセンター (小林)		脳波・てんかんセンター (小林)	菅根(もの忘れ外来) (連携室予約のみ)	龍見
22診	梶田脩(初診)			榊原(初診)	龍見(初診)	瀧田(初診)	原田(初診)		
25診	交代制				交代制	岡田	交代制		

診 療 科		月	火	水	木	金
整 形 外 科 (1階)	1診	家崎	下村	阿部	杉山	長嶺
	2診	長嶺	阿部	家崎		下村
	3診	杉山	平良			平良
	4診	佐藤 ^智 (人工関節)	浅井(リウマチ)	佐藤 ^智 (リウマチ)	生田(人工関節)	生田(リウマチ)
	5診		小嶋(リウマチ)	小嶋(リウマチ)	浅井(人工関節)	小嶋(リウマチ)
	6診		篠原 (手の外科) 第2週13～15時	藤戸 (骨・軟骨腫瘍) 最終週14時～		風間(第2週)

小 児 科 (3階)	午前	1診	後藤 ^雅 (循環器)	後藤 ^雅 (循環器)	後藤 ^雅 (循環器)	後藤 ^雅 (循環器)	後藤 ^雅 (循環器)
		2診	堀部 (血液・腫瘍)	堀部 (血液・腫瘍)	服部 (血液・腫瘍)	市川 (血液・腫瘍)	関水 (血液・腫瘍)
		3診	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)			
		4診	二村 (初診・一般)	末永 (初診・一般)	関水 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	田中 (初診・一般)
小 児 科 (3階)	午後	1診	木村 (内分泌)月2回 後藤 ^雅 (予防接種)	後藤 ^雅 (予防接種)		後藤 ^雅 (予防接種)	金子 (小児外科)月2回 後藤 ^雅 (予防接種)
		2診	堀部 (長期フォロー) 高橋 (カウンセリング)	竹中 (神経)	田中 (アレルギー)	二村 (アレルギー)	末永/ 後藤 ^雅 (乳児健診)
		3診	前田 (長期フォロー)			前田 (長期フォロー)	高橋 (カウンセリング)
		4診	交代制(一般)	交代制(一般)	交代制(一般)	交代制(一般)	交代制(一般)

遺 伝 診療科 (2階)	特別診療室 遺伝(3階) カウンセリング	看護外来	—	—	服部 ^浩 ・ 田口・河合	—	服部 ^浩 ・ 田口・河合
			—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
耳鼻いんこう科 頭 頸 部 外 科 (3階)	1診 (初診)	加藤 ^健 ・中田	寺西・神本	森永・神本	竹内 ^佑 ・竹市	加藤 ^健 ・竹市	
			森永・神本	森永・竹市	加藤 ^健	中田	中田
			寺西・竹市	竹内 ^佑	竹内 ^佑	加藤 ^健	寺西・神本 (1・3・5週) 森永・神本 (2・4週)
			めまい・耳鳴り・難聴	中田(めまい) 加藤(耳鳴・難聴)		横井 (再診13:30-15:30)	
眼 科 (3階)	1診 (初診)	河合(1・3・5週) 福田(2・4週)	服部 ^友	近澤	岡戸		
			岡戸	福田(1・3・5週) 河合(2・4週)	鳥居 ^良		
			服部 ^友 (1・3・5週) 小口(2・4週) 鳥居(午後)	近澤	服部 ^友		
			吉田 ^統		久保田	久保田	
産 婦 人 科 (3階)	1診	中西	吉田 ^沙	熊澤	熊澤	中西	
			稲葉	可世木	稲葉	交代制	吉田 ^沙
泌 尿 器 科 (3階)	初診	川西	交代制	平林	交代制	吉野	
			吉野	川西	伊藤	鹿島	
			吉澤	岡村		平林	
専 門 外 来 (3階)	1診	笠原	小暮 ^あ (12:00まで 神田(午後))	今橋 ^真 (14:00まで)	横幕 松下(3週午後)	横幕 渡辺(4週午後)	
			小暮 ^あ (14:00まで)	担当医 (1週・3週) 林(2週・4週)	担当医 (12:00まで)	小暮 ^あ (12:00まで)	今橋 ^真
歯科口腔外科 (3階)	初診	上嶋	後藤	白井/小田	交代制	成田	
			後藤	小田	交代制	小田	
			小田	上嶋		後藤	
			成田	宇佐美	宇佐美	上嶋	
			白井	成田		宇佐美	
放射線治療科 (地下1階)	X線TV5 X線TV6	初診・再診	宮川・加藤 ^恵	宮川・加藤 ^恵	宮川・加藤 ^恵	宮川・加藤 ^恵	宮川・加藤 ^恵
			宇佐見・ 安藤 ^嘉	宇佐見・ 安藤 ^嘉	大岩・ 宇佐見・ 安藤 ^嘉	大岩・宇佐見・ 安藤 ^嘉	大岩・宇佐見・ 安藤 ^嘉
			宇佐見・安藤 ^嘉 大岩(午後3時～)	大岩・宇佐見・ 安藤 ^嘉	大岩・宇佐見・ 安藤 ^嘉	大岩・宇佐見・ 安藤 ^嘉	大岩・宇佐見・ 安藤 ^嘉
			消化器	呼吸器	消化器	消化器	消化器
			耳鼻いんこう科(嚥下)	耳鼻いんこう科(嚥下)	耳鼻いんこう科(嚥下)	耳鼻いんこう科(嚥下)	耳鼻いんこう科(嚥下)
超音波	検診	大岩・ 森田(午前)	森田	大岩(生検)/ 森田	遠藤・須田 (乳腺)	—	—
			大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田
			大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田
			大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田
			大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田

血液内科 (3階)	1診	永井	飯田	永井	飯田	足立
	2診	足立	鈴木康	今橋伸	鈴木康	今橋伸
	3診	間瀬	安田	小暮あ	平野大	小暮あ
	LTFU	飯田(1週)	飯田(2週)		飯田(3週)	